

令和 4 年 12 月 7 日

浜田市議会議長

梶山 様

様

議員名 半 尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 令和 4 年 11 月 24 日 (木) 13:00 ~ 16:30

2. 研修内容

「市内のトップランナー大会! こっぴい 走り始めと成果を学ぶ」

3. 研修先

ロカウ・マニエラ推進連盟

4. 調査経費

5220 円

(経費内訳 5000 円、 220 円)

5. 調査研究活動の概要

別紙にて。



オンライン研修会「関西のトップランナー大集合！ごっつい  
取り組みと成果を学ぶ」

主催・ローカル・マニフェスト推進連盟。

基調講演、早稲田大学名誉教授：北川正恭氏

「マニフェスト20年ローカル・マニフェストで地域から日  
本が変わる」

講演、公財図書館振興財団事務局長：佐藤達生氏

「図書館を使った地域課題の解法と資金調達」

2022優秀賞発表1、大津市議会議員、谷祐治

「びわこ大津草津景観推進協議会・びわこ東海道景観協議会  
による景観基本改革の策定と東海道の魅力を発信する統一  
案内看板の創造」

2022優秀賞発表2、下宿生でも投票出来ますプロジェクト  
「下宿生大学生の投票用紙へのアクセス向上に向けた、不  
在者投票制度推進利用の試み」

2022優秀賞3、枚方市こども未来部こども青少年政策課

「公民連携でこども食堂の運営を支援！こども食堂DX実  
証実験」

2022エリア選抜発表4、西脇市議会、林晴信

「今、議会の存在意義が問われる「議会が住民のなかにあるために」－議会DXを推進し、より開かれた議会へ－」

2022エリア選抜発表5、枚方市議会、木村亮太

「コロナ禍における「弧育て」・育児疲れの解消のために、利用にかかる親の心理的ハードルを下げ、一時預かりの利用促進施策」

事例発表1、大津市議会局長、清水克士

「これでいいのか議会！～軍師の現役卒業放談～」

事例発表2、京田辺市長、上村崇

「市民との対話で進める市長選マニフェストサイクルの取り組み」

講評：北川正恭氏

講評：北川正恭氏

11月9・10日の講評もそうであるが、マニフェスト20年を振り返って、初期においては、浜田市議会には随分お世話になった。今後は世代交代をしたい。しかしながら、いまだに、次の議長は誰々、その次は誰々という議会が存在している。猛省を促したい。

考察、

コロナ禍で出来なかった対面式の講演会に久しぶりに参加した、9・10日の事例発表会は新鮮であった。次のオンライン研修会も被らない講演に聞き入ってしまった。全国の意欲ある議員、首長、市民の提案や実行例に大いに刺激を受けた。浜田市議会も「井の中の蛙大海を知らず」にならないように、研鑽に励む必要がある。それと、全国の議会改革のトップランナーとの交流が必要であると感じた。